

今夏の電力需給対策についての会頭コメント

京都経済界では、昨夏以来、自主的な節電努力を行ってきており、事業活動に過度な影響を与えない範囲で、今後も継続して最大限の努力を行う。しかし、今回政府が指し示した15%以上の節電は極めて厳しい。

加えて、強制的な需要抑制策である計画停電の準備が進められることについては、大きな危惧を抱いている。万が一計画停電が実施されると、正常な経済活動、特に中小企業への悪影響は避けられず、暮らしや医療など広範囲に深刻な事態が及ぶことが懸念される。計画停電を回避するための対策を万全に整備されたい。

政府の今後のエネルギー政策の策定には時間が必要であり、立ち位置により意見が異なるが、今夏の安定的な電力供給の手段として、大飯原発3・4号機の暫定的な再稼働を、野田首相に早急に決断いただくほかはない。

以 上

平成24年5月18日

京都商工会議所
会頭 立石 義雄